

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 2ヶ月に一回の開催ができていなかった。	地域の代表者や様々な立場の方に参加して頂き、行政の担当者の方を交えて話し合い、意見や情報を運営に生かすように努める。	○地域住民(近所・民生委員・消防署員・警察等)に参加して頂けるように依頼する。 ○自治体の催しへの参加や当施設への行事への参加等を依頼していく。	12ヶ月
2	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 年2回の地域との交流行事の時には、御家族の方皆様に参加してもらって家族会の代表を決めてもらったり、職員や他の御家族様との馴染みの関係づくりに力を入れている。が、記録等から本音や率直な意見を十分に聞き取るまでには至っていない。	ご家族様の本音や率直な意見が聞けて、施設の運営に反映していく。	○ご家族様の思いを十分にくみ取れるように、個別に話が聞ける時間を設けていく。また、率直な意見や意向を汲み取れるような場の設定や家族アンケートなどを試みていく。	12ヶ月
3	23	○思いや意向の把握 利用者様との日々の関わりの中で、利用者様の想いや気づきは、個々の職員にとって受け止め方が違っている事があり、共有できていないと感じる事がある。	利用者様とのかかわりの中で、移り変わる些細な思いも共有することが出来る。	些細な事、何気ない職員の思いを共有できるように、また、話しやすい雰囲気作りに力を入れ、コミュニケーションを取っていく。	12ヶ月
4	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 開設以来10数例の看取りの対応をしてきた。医師やご家族様の協力のおかげで、私たちの理想とする看取りのケアをさせて頂いたが、看取りの指針等の書類作成ができていなかった。	看取りの体制は今までどおりで十分と考えられるが、書類作成はきちんと事前に作成していく。	看取りを行っている事業所等で書類作成の意見等を聞き、当施設の書類を作成していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。